

報道関係各位

2023年11月1日

トンネル点検作業の効率化を追求した高所作業車 「トンネル点検プラットフォーム」レンタル開始

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、トンネル内の点検作業に特化した高所作業車「トンネル点検プラットフォーム」のレンタルを2023年11月1日(水)から開始いたします。

なお、本商品は一般社団法人 日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所(静岡県富士市、所長:真下英人)とグループ会社の岐阜工業株式会社(本社:岐阜県瑞穂市、代表取締役:宗像国義)が共同で開発しました。



今回の「トンネル点検プラットフォーム」は、トンネル点検作業の効率化と作業員の作業負担軽減を目的に開発された高所作業車です。最大の特徴は、プラットフォームの作業台をトンネルのアーチに沿うよう階段状に変形する仕様にしたことで、点検の際に一度に広範囲の点検作業を行うことを可能にしました。

大型の作業台は作業床全長 2,435mm、全幅 1,500mm、全高 1,240.7mm、傾斜角度は 0 度～50 度まで可動し、最大積載荷重 500kg のため、作業員複数名が同時に作業することができます。

アウトリガはローラージャッキ^{※1}を採用することで、作業姿勢のまま移動することができるため大幅な作業の削減が見込まれます。

アクティオは今後も「レンタルティンギ」のノウハウを活かし、生産性を向上させる製品やサービスを提供していきます。

^{※1} ローラージャッキ:トンネル内での作業等、長く続く現場での移動の際に、ブーム・ジャッキを格納する必要がないため、通常ジャッキ装備のタイプよりも効率的に作業を行える

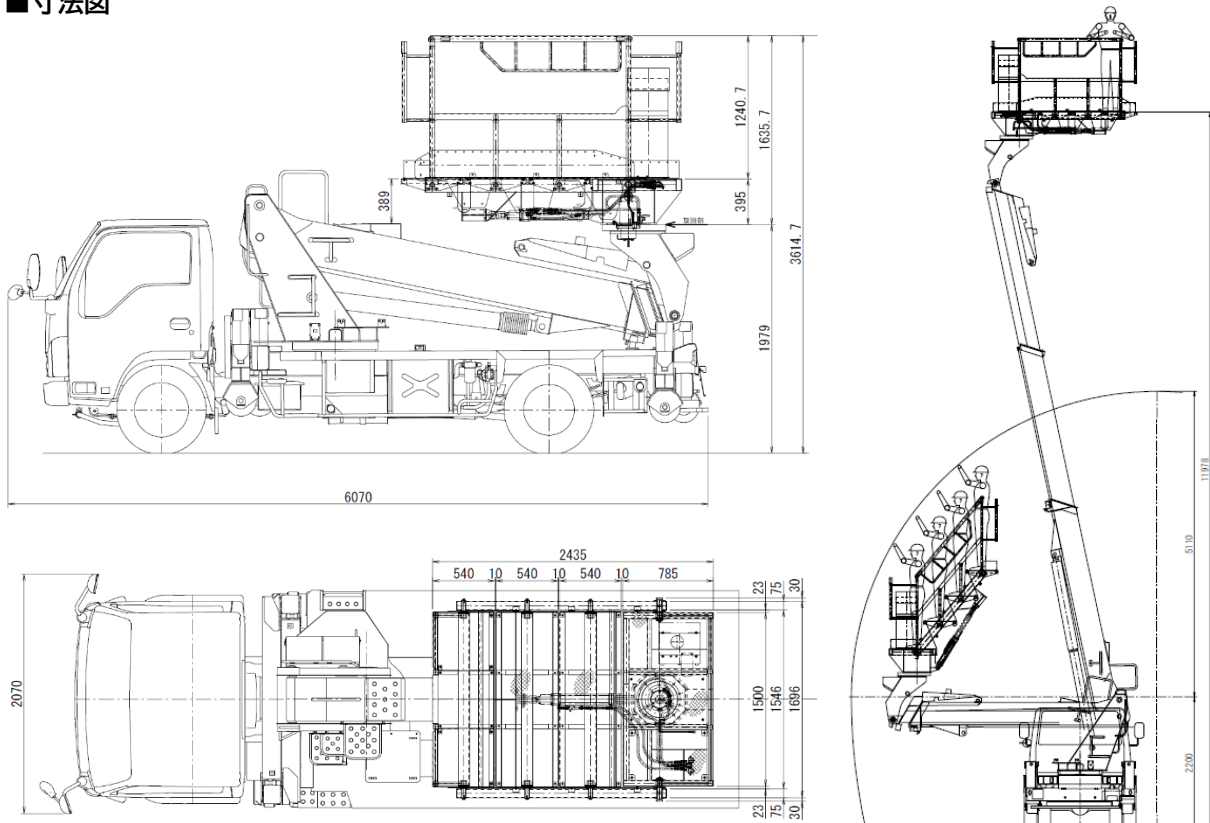
■「トンネル点検プラットフォーム」特長

- ・階段状に変形し一度に広範囲の作業が可能
- ・最大積載荷重 500kg。作業員複数名が同時に作業可能
- ・ローラージャッキ仕様のため作業姿勢のまま移動することが可能

■作業の様子



■寸法図



■スペック

呼称(床面高さ)	(m)	11.9
最大積載荷重	(kg)	500
デッキ寸法(L' × W' × H')	(mm)	2,435×1,500×1,240.7
デッキ傾斜角度	(度)	0~50
ブーム起伏角度	(度)	-17~78
架装シャーシ	(t車)	3
寸法(L× W× H)	(mm)	6,070×1,905×3,614.7
アウトリガ張出寸法	(mm)	3,440

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使

うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本商品に関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 産業機械事業部 ハイウェイメンテナンス部

TEL:03-6712-3056